

議長公務など富山市議会として、様々な行事に出席しております。



■本庶佑先生 富山県特別栄誉賞・富山市名誉市民章合同式典



■朝菜町公園の表示設置



■下堀交番竣工式



■富山駅高架化完成 記念式典



■ポータル新車両披露目式 岩瀬保育園の園児と記念撮影

## 》平成31年3月定例会の概要

平成31年3月富山市議会定例会は、3月1日から25日まで25日間の会期で開かれました。平成31(令和元)年度富山市一般会計などの予算案件、平成30年度補正予算案件、条例案件、契約案件、意見書等について審議し、合わせて101議案が原案のとおり可決しました。

令和元年の重要施策は、子育て & 高齢者等への取り組みに対する予算が多くを占めています。

	令和元年度	平成30年度	対前年度(%)
一般会計	164,239	156,804	104,7
特別会計(16会計)	131,090	132,827	98,7
企業会計(4会計)	47,470	45,747	103,8
合計	342,799	335,378	102,2

## 》可決した主な議案

予算案件	重要施策別主要事業の主なもの
<p>出産・子育て・教育環境の充実と女性活躍の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童健全育成事業 特別拡充事業</li> <li>子ども家庭総合支援拠点運営事業</li> <li>産前産後マサポートダイヤル事業</li> </ul>	<p>地域包括ケア体制と元気な高齢者活躍の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用 認知症高齢者 検索支援事業</li> <li>認知症高齢者等おでかけあんしん損害保険事業</li> <li>高齢者人材バンク運営事業</li> </ul>
<p>SDGs未来都市・環境未来都市の実現に向けた取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園整備事業(呉羽山・城山公園・城址公園等)</li> <li>サンライト事業(道路照明LED化)</li> <li>海洋ごみ対策推進事業</li> </ul>	<p>公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通活性化推進事業(あいの風鉄道等)</li> <li>生活交通対策事業(地域自主運行バス等)</li> <li>富山駅周辺地区南北一体化事業</li> </ul>
<p>企業立地の促進と産業の振興による地域経済の活性化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>とやまのお魚PR推進事業</li> <li>富山市プレミアム付商品券発行事業</li> <li>企業立地推進事業</li> </ul>	<p>インフラの耐震化・長寿命化や公共施設マネジメントによる持続可能なまちづくり推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>林道施設長寿命化事業</li> <li>海岸保全施設整備事業(水橋漁港海岸)</li> <li>橋梁維持補修事業(八田橋等)</li> </ul>

# しゃがわ 智也 市政報告

地方創生に 全力投球!

vol.8  
平成31年  
4月発行

春風が心地よい季節となりましたが、皆様にはいよいよご清祥の由、心からお喜び申し上げます。平素は格別のご愛顧にあずかり厚く御礼申し上げます。新しい元号のもとで、これからの社会を担う若者や産声を上げる子どもたちが、この富山で心豊かに成長されることは私たちの共通の願いであり、社会全体で支えていかなくてはならないと思っております。皆様におかれましては、季節の変わり目ゆえ、どうぞご自愛くださいますよう祈念申し上げます。



## 私立保育所等補助事業費 施設整備補助事業 事業費 860,992千円

児童受入数の拡大や認定こども園への移行、子育て環境の向上と充実を図り、安心して子どもを生み、育てることができる環境づくりを推進するため保育園の新設や増築工事が実施されます。



わかば学童クラブ下堀園敷地内にこども園を新設 ▶

法人名	事業内容	定員
学校法人 富山学園	幼保連携こども園新築工事 (本郷町地内)	125人
社会福祉法人 わかば福祉会	幼保連携こども園新築工事 (下堀地内)	121人
社会福祉法人 東山福祉会	小規模保育施設新築工事 (石田地内)	19人
社会福祉法人 わかくさ福祉会	わかくさ保育園の改築工事 (町村地内)	300人

上記のほか、窪本町、太田北区地内の幼稚園が増築

## 認知症高齢者等 おでかけあんしん損害保険事業 事業費 1,500千円

認知症の方が、他人にケガを負わせたり他人の財産を壊すなど、本人や家族が法律上の賠償責任を負うことになった場合、1件につき1億円を限度に保険金を支払うもの(誤って線路内に立ち入って電車を停めてしまった場合の損害賠償責任を含む)。



- 被保険者(加入要件)  
『富山市認知症高齢者徘徊SOS緊急ダイヤル』の登録者で希望する方(保険事業のみの加入は不可)
- 保険料  
個人負担：なし  
公費負担：1年間1人当たり2,000円

## 住民基本台帳ネットワークシステム費 マイナンバーカードを利用してコンビニエンスストア等で証明書を取得できるサービスの導入 事業費 32,569千円

- 【コンビニ交付のサービス内容】
- 交付証明書  
住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書、戸籍の付票の写し、所得課税証明書(最新年度)
- 利用可能店舗  
マルチコピー機が設置されている全国のコンビニエンスストア等
- 利用時間  
6時30分から23時まで(年末・年始を除く)



## がん対策事業 事業費 554,440千円

死因の第1位であるがんを早期に発見し、早期治療に結びつけるために実施している各種がん検診について、更なる受診率向上に向けた新しい取り組みや事業の強化を図る。



自己負担割引による早期受信促進や 託児付き集団検診導入 など

## 平成31年3月定例会にて議長に選出されました。

過去の政務活動費の使用をめぐる、短期間で議長の2名が辞任しました。富山市民の皆様には非常に不快な想いを持たせてしまっていることに対し、深くお詫び申し上げます。

皆様の日々の生活における様々な課題解決や福祉向上に向けて、努力を積み重ねる一方で、議会改革も着実に進めてまいり所存であります。

皆様におかれましては、ぜひ期待の念をもって見て頂ければ幸いです。



## 地方議会の本来のあり方を目指す！

### 【所信あいさつ原文】

今ほどは、大変僣越ながら、私を議長に選んで頂き、ありがとうございます。

まずは、このたび、過去の政務活動費の使用をめぐる、議会が危機的な状況に陥ったことは、議会人のひとりとして、市民の皆様には深くお詫び申し上げます。



私は議会のあるべき姿を追求していきたいと思っております。

それは、議員一人ひとりが、それぞれの地域で、より多くの方々に触れ、そこで頂く様々な意見や地域の課題、また、そこにある声なき声をしっかりひろって、それを当局みなさんと是々非々で協議していく。そういった本来、議会のあるべき姿を改めて見つめ直したいと考えております。そして、守るべきことは守る、変えるべきことは大胆に変えていくということを積極的に取り組んでまいりたいと思っております。

その真摯な取り組みこそが、多くの市民が享受でき、また信頼できる議会へと生まれ変わる礎となるものと信じております。

議会は市民に向かって、また、その地域の発展のために汗をかくことを忘れてはならないと思っております。そして、今回、私は、議長として、議員経験もない、大変、イレギュラーな形で議長を賜ることになりましたが、この歴史ある富山市議会を背負う覚悟はできております。

若い力で、私自身、前を向いてやっていくしか道はないと決意しておりますので、大変険しい道のりになると感じておりますが、一步一步着実に、また、さわやかに前進してまいりたいと思っております。

これから社会は大きく変革していきます。

今こそ、議会本来の意義と真摯に向き合いながら丁寧に市民の皆さんの想いを汲み取り、地域の発展のために議会全体で前に進んでいこうではありませんか。議会改革は、現在も着実にすすんでおりますが、まだまだ道半ばであります。

ついては、議場にいらっしゃる議員各位の皆様、ならびに当局の皆様、また議会事務局の皆様には今後の議会運営にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。所信あいさつとさせていただきます。頑張ります！



## 富山市議会として歴代最年少議長

氏名	年齢	当選回数	就任日
力示 健蔵	77	10	05.5.16
松本 弘行	67	5	06.3.22
佐伯 幸一	57	5	07.3.20
五本 幸正	71	8	08.3.24
笹木 豊一	69	5	11.6.16
原田 佳津広	62	5	12.3.22
村家 博	63	6	13.4.30
中川 勇	66	6	14.3.24
有沢 守	64	6	15.3.20
市田 龍一	61	5	16.3.23
高見 隆夫	69	7	16.9.21
村上 和久	56	7	17.4.28
横野 昭	66	3	19.2.12
舎川 智也	45	2	19.3.1

2005年(平成17年)富山市合併以降の富山市議会議長



### 【議員と議会のあり方について会見】

『地域の意見を吸い上げるのが議員で、その集合体が議会。地域意見、想いを市長に対してしっかり言えることが重要。税金を預かる市長の提案に対し、チェック機能を高めていかなければならない』

『党派間の摩擦はあるが、今はそれでいい。互いに尊重しながら、議論を交わすことが大切。将来的には一体となって前に進むことができるように努めたい。』

## 議会と市民の距離感を近く



### 議会基本条例制定に関する陳述書の提出を受けて、2年振りの意見陳述を実施

今定例会では『富山市議会基本法令制定に関する陳述書』が、富山市内外179名の陳述者の連名により提出されました。議会運営委員会で陳述を了承いただき、陳述の代表者の方に意見を述べて頂きました。今回、本陳述は、引き続き議会として研究するとして不採択となりましたが、多様な意見を聞き、対応していくことが地方議会として大切と考えております。少数意見についても丁寧に対応していきたいと考えます。

## 富山県市議会議長会の会長職を辞退

### 同会設立1954年以降、初のケース

富山市議会でも相次いだ政務活動費の問題によって県内各市議会にご迷惑をお掛けしました。同会の設立以来、県都40万都市の議会として、富山市の議長が代々会長を歴任してまいりましたが、その慣例を排除し、富山市議会が再生するまでの間、議長会の会長を辞退することといたしました。

(後任の会長は高岡市、副会長は黒部市が就任)



## なんとか乗り切った3月定例会を振り返って



3月定例会も一議員としていつも通り、質問の壇上に立つために、議会直前まで調査を続け、加えて監査委員の仕事も重なり、日々、睡眠もおろそかになっておりました。

そんな状況の中で、議長という大きなバトンがまわってまいりまして、私としてもすぐには受け入れることができずにおりました。しかしながら、皆様にアドバイスやバックアップを頂き議長に立候補するに至り、結果、3月1日の本会議で議長を拝命することになりました。

定例会中は、議会の進行や質問する議員の質問が趣旨と逸脱することはないか、時間内に質問がおさまるか、不適切な発言はないかなどに終始し、議場の統制を取り仕切るまでにはほど遠いものだったと反省しております。一部の新聞報道では「無難に乗り切ったが、傍聴人の対応に頼りなさもあった」と指摘される始末。議長は閉会中も議長であり、次の議会のため様々な対応が求められます。しっかりと足元を固め、日々、精進してまいりますので引き続きのご指導賜りますようお願いいたします。